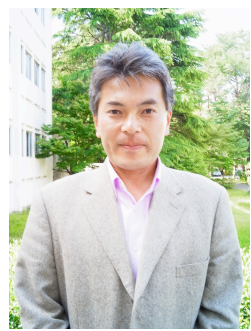




整理番号	HT25069	分野	生物	(キーワード) 遺伝子・植物
------	---------	----	----	----------------

## 国際基督教大学

### 植物の時計：止まるとどうなるの？

先生(代表者)	溝口剛(みぞぐちつよし) 国際基督教大学・教養学部・教授				
自己紹介	時間生物学、分子遺伝学、分子生物学、植物生理学が専門です。趣味は、フットサル、サッカー、テニスなどのスポーツで、週末は近隣小学校でサッカーのコーチ手伝いをしています。西洋絵画の美術館めぐりや古い機械式フィルムカメラでの撮影とプリントも好きです。9月には渋谷でグループ展の予定です				
開催日時・ 主な募集対象	平成25年8月13日(火)	(対象)	中学生	(人数)	20名
	平成25年8月20日(火)		高校生		20名
集合場所・時間	国際基督教大学理学館1階フロア		(集合時間)	9:30	
開催会場 (集合場所)	国際基督教大学理学館 住所: 〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2 アクセスマップ: <a href="http://www.icu.ac.jp/access.html">http://www.icu.ac.jp/access.html</a>				
<b>内 容</b>					
<p>生物も時計をもっているの？  進みの速い時計、遅い時計、壊れて止まってしまった時計をもっている植物には何が起こるの？  生物時計遺伝子って何？ 植物の遺伝子(DNA)って見えるの？ 触れるの？  野菜や果物が時間を計るしくみを学び、私たちヒトの時間感覚についても考えてみよう。  受講生の皆さんは、生物のどのようなかたち・色・応答性に興味がありますか？  自分で見つけたユニークな変異体の性質を商品開発に活かすとすると？  受講生の皆さんの奇抜でユニークな発想が試されるプログラムです。</p>					
					
<b>スケジュール</b>			<b>持ち物</b>		
<u>1日目、2日目とも同一日程</u>			筆記用具 (デジカメがあれば持って来ても良い)		
9:30~10:00 受付(国際基督教大学理学館1階フロア集合)					
10:00~10:30 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)					

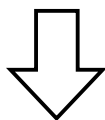
10:30~11:30 講義1「生物時計による生き物のかたち作りについて (講師:溝口剛)」 講義2「生命の根源 DNA の役割(講師:布柴達 男)」 11:30~13:00 ランチタイム 13:00~14:50 実習1「顕微鏡・ルーペ・ピンセットを用いた 突然変異体の単離・解析(講師:溝口剛)」 実習2「植物からの DNA 抽出(講師:布柴達男)」 14:50~15:10 休憩(お茶とお菓子) 15:10~16:10 実習3「植物の商品開発:花の色・かたち・サイズ を対象として実際に商品化された成果物を紹介 しながら、受講生からのアイデアを募る (講師:サントリーから招聘予定)」 16:10~16:40 修了式(アンケート記入、未来博士号授与) 16:40~ 終了・解散	特記事項

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	国際基督教大学・研究支援グループ・佐藤タ子
住 所 :	〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2
TEL 番号 :	0422-33-3139
FAX 番号 :	0422-33-3441
E - m a i l :	jsps@icu.ac.jp
申込締切日 :	平成25年7月16日(火)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
溝口 剛	H23-24	特定領域 研究	23012037	個体サイズと花成制御における概 日時計とブラシノステロイドホルモン の役割



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。